

高活協通信(2023年2月号)

発行：一般社団法人 高齢者活躍支援協議会

<http://www.agenomics.org>

◆◆◆高活協ニュース◆◆◆

■お知らせ

- 高活協オンライン賀詞交歓会を開催しました(2023年1月27日)。
- 今月の“「定年後の仕事」関連情報欄”の内容は、“連載「高齢者はどんな仕事をしているのか」”の第4回目です。
- 高活協通信「今月の一冊」は、「ほいきた、トシヨリ生活」です。
- 高活協ホームページを更新しました。
 - ・「高活協ホームページ」のURLは以下の通りです。

<http://www.agenomics.org>

高活協は会員の皆様に毎月1回「高活協通信」を配信させていただいております。この通信活動を会員の皆様と高活協とのコミュニケーションの機会とさせていただきたく考えております。つきましては、皆様のご意見や提供したい話題などがございましたら、本配信メールへの返信にてお寄せいただければ幸いです。

■2023年1月の主な活動

- 高活協は現在、シンポジウムなど人が多く集まるイベント活動を自粛しております。ただし、少人数の会議やZOOM等を利用したオンラインの会議・イベント等は新型コロナの感染状況を睨みながら適宜実施しております。
- 2023年1月27日、高活協オンライン賀詞交歓会を開催しました。平日の勤務時間帯のため参加者は少なくなりましたが、会長挨拶の後、出席会員から近況報告などが行われました。会の後半は、高齢者就業や高活協の今後などを話題に、くつろいだ雰囲気の中での懇談となりました。
- 2023年1月30日、高活協が参加している高齢社会NGO連携協議会(高連協)の役員会に出席しました。今後の事業計画やスケジュール等についての事務局報告の後、子育て支援など地域において高齢者は何ができるかなどについても話し合われました。
- “「定年後の仕事」関連情報欄”では、連載で「高齢者はどんな仕事をしているのか」を掲載していますが、引き続き高齢者の仕事を俯瞰するための「高齢者の仕事の分類」に関する検討を行いました。
- 高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ページにおいて、「高活協通信(2023年1月号)」を掲載しました。
- 2023年1月、生涯現役社会の実現に向けた行政や企業などの動向に関する情報収集を行いました。なお、「◆◆◆生涯現役社会の実現に向けてートピックス◆◆◆」のコーナーでは、“「定年後の仕事」関連情報”を適宜掲載していきます。

◆◆◆高活協主催/共催イベントの紹介◆◆◆

■これまで高活協が主催した(共催含む)イベントの報告書/記録集

過去に高活協が主催・共催したイベント(シンポジウム、セミナー/フォーラム)の報告書や記録集は、高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ボタンをクリックしてご覧になれます。(ホームページは下記 URL)

<http://www.agenomics.org/>

◆◆◆高活協会員関連イベント等のご紹介◆◆◆

会員のご希望があればご紹介記事を適宜掲載させていただく予定です。

◆◆◆生涯現役社会の実現に向けて – トピックス◆◆◆

生涯現役社会は、「職業寿命」「社会活動寿命」「健康寿命」「資産寿命」という 4 つの寿命の延伸が相乗効果をもたらす社会、すなわち「それぞれの寿命の伸びが相互に他の寿命も伸ばす」という好循環がもたらされる社会です。そんな生涯現役社会の実現に向けた最近の動きを紹介していきます。

■令和 4 年「高年齢者雇用状況等報告」の集計結果から何が見えるか？

先月号で「高年齢者雇用状況等報告」(2022 年 6 月 1 日現在)を紹介しましたが、改めて「高年齢者雇用安定法」が企業に求める雇用や就業に関する措置の実施状況を一覧表に整理してみました(下表)。

興味深いのは、65 歳までの雇用確保措置(義務)と 70 歳までの就業確保措置(努力義務)の実施企業を見たときの違いです。導入措置として「継続雇用制度」を選択している企業の割合が圧倒的に多いのはどちらも同じですが、「定年制の導入」については違いが見られます。65 歳(義務)では「定年の引上げ」措置を選択している企業が「定年制の廃止」措置を選択している企業を上回っていますが、70 歳(努力義務)では「定年制の廃止」措置を選択している企業が「定年の引上げ」措置を選択している企業を上回っています。

表「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」が企業に求める措置の実施状況(厚生労働省)

(2022 年 6 月 1 日現在の実施済み企業の割合)

	全体 (235,875 社)	大企業=301 人以上 (17,090 社)	中小=21~300 人 (218,785 社)
65 歳までの雇用確保措置	99.9%	99.9%	99.9%
70 歳までの就業確保措置	27.9%	20.4%	28.5%

(実施済み企業の措置の内訳)

導入措置の選択		全体	大企業	中小企業
定年制の廃止措置の導入企業	65歳までの雇用確保措置	3.9%	0.6%	4.2%
	70歳までの就業確保措置	14.0%	2.9%	14.7%
定年の引上げ措置の導入企業	65歳までの雇用確保措置	25.5%	16.1%	26.2%
	70歳まで就業確保措置	7.5%	2.9%	7.7%
継続雇用制度の導入企業	65歳までの雇用確保措置	70.6%	83.3%	69.6%
	70歳までの就業確保措置	78.1%	93.1%	77.2%
創業支援等措置の導入企業	65歳までの雇用確保措置			
	70歳までの就業確保措置	0.1%	0.1%	0.1%

(参考)

	全体	大企業	中小企業
65歳定年制の導入企業	22.2%	15.3%	22.8%

この違いですが、さすがに70歳まで定年を引き上げるよりは、定年制を廃止してしまう方が裁量の自由度があるのではないかと考える企業が多いのかもしれない。

■「定年後の仕事」関連情報欄

- 2021年4月から施行された「70歳就業法」では、定年後の継続雇用だけではなく、継続的な業務委託や社会貢献活動への支援といった措置も選択肢になっており、高齢者の多様な働き方を後押ししています。
- 今後このトピックスのコーナーでは、「定年後の仕事」に関連した情報を適宜掲載していきます。高齢者の就業を考える際の参考にしていただければ幸いです。

「高齢者はどんな仕事をしているのか」といったテーマについて連載しています。連載第4回目の今月号では、高齢者に就業の機会を提供しているシルバー人材センターの「仕事の分類」について見ていきたいと思います。

シルバー人材センターでは仕事を大きく 3 段階で分類しているようです。すなわち、「職群」(大分類)、「職種」(中分類)、「仕事の分類」(小分類)、の 3 段階です。これは同じ 3 段階で分類している厚生労働省の職業分類(大分類、中分類、小分類)とは異なります。例えばマンションなどの建物管理の仕事は、厚労省の職業分類では管理的職業(大分類)ではなく、サービスの職業(大分類)に分類されていますが、シルバー人材センターではサービス群(大分類)ではなく管理群(大分類)に分類されています。

また、シルバー人材センターの仕事の分類は、大分類の段階では全国的に同じ分類が用いられているようですが、中分類や小分類の段階になると、そこまで細かく分類していない地域もあり各シルバー人材センターに任されているようです。ちなみにシルバー人材センターの職群(大分類)は以下の 8 通りです。

- 1、技術群
 - 2、技能群
 - 3、事務群
 - 4、管理群
 - 5、折衝外交群
 - 6、一般作業群
 - 7、サービス群
 - 8、その他
-

◆◆◆読み物コーナー◆◆◆

■今月の 1 冊

人生 100 年時代を迎え、シニア層の増加を意識した書籍が増えているようです。このコーナーでは、高齢者の就労に関わるテーマや高齢者の社会参加、ライフスタイル、健康問題などを取り上げている書籍を紹介します。

書 名:ほいきた、トシヨリ生活

著 者:中野 ^{みどり}翠

出版社:文藝春秋(文春文庫)

(URL <https://books.bunshun.jp/ud/book/num/9784167918194>)

定 価:781 円(税込)

今回は、コラムニスト、エッセイストの中野翠さんの著書を紹介합니다。中野さんは 1946 年生まれ。70 代となった現在も、「サンデー毎日」や「週刊文春」などの媒体で健筆をふるっている、生涯現役の実践者です。

著者は「おひとりさま」の先駆者としても知られているようで、ひとり暮らし歴は 40 年を数えるとのこと。そんな中野さんも「気づいたらいつの間にか私もトシヨリになっていた」と自覚し、著者ならではの視点で老後を愉

しく過ごすヒントをまとめた、気軽に読めるエッセイを書いたようです。

本書は6つの「話題」から構成されています。「アップレな先輩たち」では、96歳の元同僚の女性やスーパーボランティア・尾島さんなど、多くの人にとって手本になるような先輩高齢者の生き方や考え方を紹介。「美老人への道」では、かつこよく生きてきた先輩高齢者の方々が紹介されています。「おすすめ老人映画」は、映画評論家として数多くの映画を観てきた著者だけあって、観るだけで元気をもらえるような「おすすめ老人映画」が取り上げられています。自宅でのDVD鑑賞の手引きになりそうです。その他、「バアサン・ファッション」、「老後の愉しみ」、「最後まで一人を愉しむ」なども、中野さんならではの切り口で、人生100年時代の楽しみ方が紹介されています。友人の勧めでペット代わりに「アイボ」を飼育するといったエピソードは、中野さんならではの高齢期の楽しみ方だと言えるのではないのでしょうか。

必ずしも、実生活に役立つ知識ばかりが得られるものではありませんが、肩が凝らない読み物を探しているときに手に取れば、それなりの満足感が得られるでしょう。なお、本書は、単行本『いくつになってもトシヨリ生活の愉しみ』を文庫化にあたり改題したものです。

(個人賛助会員:坂巻 大)

■高齢者雇用の総合誌『エルダー』2023年2月号(2023年2月1日発行)のご紹介

発行:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

<http://www.jeed.go.jp/elderly/data/elder/index.html>

<特集1> 技能五輪・技能グランプリを支える高齢者の底力

事例① 株式会社オカムラ

事例② 株式会社プレステージジャパン

事例① 株式会社ザニューオークラ

<特集2> 生涯現役社会の実現に向けたシンポジウム〈福岡会場〉

—働く高齢者の健康と安全確保のためのエイジマネジメント—

<連載>

○リーダーズトーク(No.93)

公益社団法人日本看護協会 常任理事 森内みね子さん

○江戸から東京へ 作家 童門冬二(第123回)

宝を育てた人質生活 徳川家康

○高齢者の職場探訪 北から、南から(第128回)

広島県 医療法人社団長寿会

○新連載 高齢社員活躍のキーマン 管理職支援を始めよう! 岡野隆宏

高齢社員の実態と管理職に求められる役割

○知っておきたい労働法 Q&A(第57回)

定年後の再雇用合意の解除、労働組合と労働者性

○活き活き働くための高齢者の健康ライフ 坂根直樹(第3回)

歩くのが遅くなってきた？

○労務資料 令和4年6月1日現在の高齢者の雇用状況等

厚生労働省 職業安定局 高齢者雇用対策課

○日本史に見る長寿食(vol.351)

寒い夜にはどんがら汁

◆◆◆
配信先メールアドレスの変更をご希望の方、また配信が不要な方は高齢者活躍
支援協議会・事務局までご連絡ください。

本通信に対するご意見やご感想をお聞かせください。

また、本通信に掲載してほしい情報等がありましたら、ぜひご連絡ください。

一般社団法人高齢者活躍支援協議会

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 17-2 兜町第6 葉山ビル 4階

TEL: 03-6555-3926

HP: <http://www.agenomics.org>
